

**平成28年度 技能検定**  
**1級広告美術仕上げ(広告面ペイント仕上げ作業)**  
**実技試験問題**

次に示す注意事項及び仕様に従って、作業を行いなさい。

**1 試験時間**

|       |        |
|-------|--------|
| 標準時間  | 5時間    |
| 打切り時間 | 5時間30分 |

**2 注意事項**

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「4 支給材料」のとおりであることを確認する。
- (2) 支給されたものに異常があれば申し出る。
- (3) 試験開始後は、原則として支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定した以外のものは使用しない。
- (5) 支給材料以外の材料は、一切使用しない。
- (6) 試験中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (7) デザイン原稿は、デザイン原稿(P7)の用紙に事前に記入したものを試験場に持参し、試験終了後、必ず提出する。
  - デザイン原稿は、採点の参考にする。
- (8) デザイン原稿(P7)には、水滴の中心位置(基準点から左・右何mmと記す)、地球の中心位置及び図柄Cの意味内容を記入すること。

また、デザイン原稿(P7)に、指定色の使用箇所を示すこと。
- (9) 次の事項に該当した場合は、不合格又は失格となる。ただし、下記以外にも不合格又は失格となる場合がある。
  - イ. 打切り時間までに作業が完了しなかったもの
  - ロ. コピー文字に誤字及び脱字のあるもの(スペル誤りを含む)
  - ハ. 空全面を塗っていないもの
  - ニ. A・B色の指定色の調色をしていなかったもの
- (10) 作業を終了した場合は、その旨を技能検定委員に申し出る。
- (11) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (12) 打切り時間になった旨を知らされた場合は、ただちに作業をやめて技能検定委員の指示に従うこと。
- (13) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (14) 試験中に他の用紙にメモしたものや参考書等を参照することは禁止する。
- (15) 試験中は、携帯電話(電卓機能の使用を含む。)等の使用を禁止する。

### 3 仕様

地球の環境保全、保護、再生は、人類共通の願いであることを踏まえて、『社会一般への認識を高めること。』を目的とした政府広報形式の広告板を制作する。

#### (1) 課題テーマについて

この課題は、水の惑星といわれる“earth”をテーマとし、水との関わりを考え、あなたのメッセージを表現しなさい。

#### (2) 図柄について

黄金比( $1:(1+\sqrt{5})/2 \approx 1:1.618$ )は、対比の最も美しいものとされ、建築や装飾など様々なデザインに応用されている。この比率をもとに広告板のレイアウトを行うことがこの課題のコンセプトである。

基準点は割付図に示す、板面上端から500mmの左右水平線上にある黄金分割点(左から695mm)とする。

#### イ 図柄A・地球

テーマ“earth”のシンボルとして地球を描く。大きさは直径を433mm(水滴球直径700mmの黄金比)とし、図柄A原稿(P5)に従い拡大配置する。地球の中心は、板面上端から309mm(500mmの黄金比)の水平線上に置き、左右の移動は任意とするが水滴に接したり、板面から外れてはならない。その中心位置が判るようコンパス針跡を残すこと。地球は陰影や濃淡をつけ、球体として彩色し、海と陸を描く。Tokyo(中心から207mm)とNew York(中心から131mm)の位置を地図上に赤で直径3mm程度に示す。

また、図柄原稿にあるような地球の円周や陸地の輪郭を描く必要はない。地球にかかる雲も描かないこと。

- 原寸原稿を予め作成し、当日持参してもよい。

#### ロ 図柄B・水滴

水滴は水のシンボルとして描く。図柄B原稿(P5)に従い拡大し、基準点を水滴の球部中心として直径700mmで描くこと。

ただし、水滴はデザイン上重要なモチーフとなるので、基準点より左右へ各150mmの範囲でスライドしてもよいが、その中心位置を持参するデザイン原稿上に基準点から左・右は何mmと明記すること。

水滴は、透明な質感を出すように、輝きや図柄Cとの重なりに配慮して立体的に描くこと。

#### ハ 図柄C

背景の中に円弧で囲まれた空間を区切り、その中にテーマに沿った、あなたのメッセージをイメージ表現しなさい。この円弧は半径1133mm(水滴直径の黄金比)とし、その左端は板面の左辺に交わり、右端は板面下辺に交わるように描くこと。

したがって、円弧の中心点は板面外となる。

また、図柄Bとは重なるが、図柄Aとは接触しないこと。

#### ニ 背景

空としての背景は、対向する2色の指定色と、この間を2色の指定色のみで混色して、大きくボカシ塗りすること。

#### (3) 文字・レタリングについて

イ “earth”は、指定書体(P5)を用い、広告板のテーマとして割付図に従いレタリングする。大きさは左右615mm、天地最大幅186mmとし、文字のスペーシングに留意すること。

● 拡大原稿を予め作成し、当日持参してもよい。(コピー機拡大は認めない。)

ロ コピー文字は、テーマに基づいたあなたのメッセージとして10～15字以内で表現すること。

書体は角ゴシック体又は丸ゴシック体とし、大きさは天地80～180mmとする。

また、レイアウトは自由とする。

漢字は常用漢字(人名漢字は除く)を使用すること。文字以外の句読点、記号等は字数に含まないものとする。

● 句読点、記号等(例えば、? {…～!})は、字数に含まないものとする。

ハ 「<sup>2020</sup>2016検定1級課題」を画面右下に、明朝体で横位置・左右300mmにレタリングすること。

#### (4) 色彩について

##### イ 指定色

A色・ブルー系 背景のいずれかの端の部分。

B色・オレンジ系 背景のA色と向き合う端の部分。

● A,B2色は色見本に従い調色すること。

タイトルの“earth”、指定文字の「<sup>2020</sup>2016検定1級課題」は、ホワイト又はダークグレー。

##### ロ 自由色

コピー文字の色は、自由とする。

図柄A,B,Cの色彩は、それぞれの表現意図に即したものとする。

#### (5) レイアウトについて

図柄それぞれの位置は、すでに注意されていることに従い、割付図に基づいて行うこと。

その他、特に以下のことに注意すること。

イ 基準点から水滴の中心を移動してレイアウトする場合は、基準点を印すと共に、ここから「左へ…mm」「右へ…mm」のようにデザイン原稿上に明記すること。

ロ 全体として内容が明確に訴求されるように指定された図柄を構成し、コピー文字のレイアウトに留意すること。

#### (6) 仕上げについて

イ 各図柄の特色、質感や図柄相互の遠近感、奥行きを感じさせる描き方に工夫する。

ロ 背景の空間は、塗り落としのないようにボカシ塗りすること。

ハ 文字等割付け線や下描きの鉛筆跡は、できる限り残さないこと。

### 4 支給材料

| 品名                | 寸法又は規格          | 数量    | 備考        |
|-------------------|-----------------|-------|-----------|
| 画板                | 1820×910mm程度のもの | 1枚    | 白色で仕上げたもの |
| 合成樹脂エマルジョンペイント(白) |                 | 200ml |           |
| 〃 (黒)             |                 | 100ml |           |
| 〃 (赤)             |                 | 100ml |           |
| 〃 (黄)             |                 | 100ml | イエローライト   |
| 〃 (青)             |                 | 100ml | 新橋        |
| ざら紙               |                 | 3枚    | 下書き用      |

## 1級広告美術仕上げ(広告面ペイント仕上げ作業)実技試験使用工具等一覧表

### 1 受検者が持参するもの

| 品名        | 寸法又は規格          | 数量 | 備考         |
|-----------|-----------------|----|------------|
| スケール      | 1m程度、30cm程度     | 各1 | みぞびきでも可    |
| 三角定規      | 30cm程度          | 1組 |            |
| T定規       | 90cm程度          | 1  |            |
| コンパス      |                 | 適宜 |            |
| 筆記用具      | 鉛筆、消しゴム、小刀、画びょう | 一式 |            |
| 調色用具      |                 | 一式 |            |
| 筆(文字、描画用) |                 | 一式 |            |
| はけ        |                 | 一式 | 使いなれたものがよい |
| 容器        | 小かん             | 適宜 |            |
| ウエス       |                 | 若干 |            |
| マスキングテープ  |                 | 適宜 |            |
| 作業服等      | 作業に適したもの        | 一式 |            |

(注) 使用工具等は、上記のものに限るが、同一種類のもを予備として持参することはさしつかえない。

### 2 試験場に準備されているもの

(数量は、特にことわりのない場合は、受検者1名当たりの数量とする。)

| 品名        | 寸法又は規格 | 数量 | 備考          |
|-----------|--------|----|-------------|
| 架台        |        | 1  | 準備できないこともある |
| 作業台(いす付き) |        | 1  |             |
| バケツ       |        | 2  | 筆洗い用、溶解用    |
| 養生紙       |        | 適宜 |             |